

【同窓会報告】

平成 26 年 41 回生クラス会

小林 徹

平成 26 年 6 月 14 日・15 日(土・日)京都鴨川のほとり KKR くに荘にて、山田先生の参加を賜り 9 名が集う。滋賀県の海津大崎以来約 2 年ぶり、それも訳あり(間隔を短くしないとダメ)全員が高齢者の仲間入りなのだ。18 時半からの宴会が待ちきれず、軽く食前酒とばかりにロビーから部屋へ、そればかりはまだまだ現役(笑)。さあ一風呂浴び着替え宴会だ、最年長者? の乾杯でグラスを傾ける。

一段落した所で司会者から近況報告をと、皆さん一応プレゼンのつもりで趣味・ボランティア活動から家族や仕事の話まで。つまるところはやはり健康維持とボケ防止! よこからチャチャを入れテンヤワンヤ、気のおけない学友なので無礼講そのもの。この場には不参加だがメッセージで参加した闘病中の方が何名かおられ愕然とする。あれだけ元気だった人が何でまた! 見渡せばハゲ・白髪・メタボにほぼ全員が該当する。中には三冠王も。やはり歳には抗えない。

愉快的限られた時間は終わりを告げ二次会会場に移動。ここでは近況報告にはない学生時代や寮での昔話に花が咲く。我々の時代は社会経験者の方が多く現役やそれに近い連中が、あらぬ社会勉強を教わり、良きにつけ悪きにつけ社会人としての心得が培われたと言い過ぎか。やはり古き良き時代だったのであろう。男の二次会では人生論・生き様なる崇高な意見が次から次へと。この場でも後半はそんな様相、いやはや勉強になった。

2 年先には我々卒後 50 年となるが「2 年間も待てない早くしないと」その声は言い得て妙なり、まさしく真実です。今回は早速福井でカニ料理と決定される。さすがの二次会も曜日が変わった 2 時前でお開き。

二日酔い睡眠不足の二重奏なるも、朝食後 9 時過ぎホテル前にて再会を約束し解散。その顔にはそれまでは元気でなどの表情がみてとれる。

皆さんお疲れ様でした。また今回都合により不参加の方々にも、次回は何とかお会いしたいと言う想いは参加者全員共通です。



以上